

られた。

平成13年3月に策定した「環境・循環基本計画」に基づき、「今の環境を保全し、創造し、100年後の子どもたちに確実に引き継ぐ」ことを町づくりの目標として、循環型社会の構築を推進し、「環境と福祉の町」をめざす。そのために以下のことに取り組んでいる。

- 未利用資源を有効活用する資源循環のまちづくり
- 今ある環境を保全修復する環境創造のまちづくり
- 世代と地域の交流を軸とする環境学習のまちづくり

資源循環のまちづくり《自然の恵みを大地にかえす、有機資源の100%循環活用をめざす》

農業や森林資源のほか、家庭や事業所から出される生ゴミなどの有機資源を含め、町のあらゆる有機資源を循環活用する取り組みを進めている。その具体例として、堆肥製造施設「エコ3センター」※で、生ゴミと畜糞の併せ処理による堆肥を製造し、良質な土づくりを進め、安全安心の農産物、農業の紫波ブランド化を推進している。農産物を給食センターで利用。約3500~4000食の米をすべて町産にするため、是非紫波町産にしてほしいと申し入れた。これはある程度個人とか組合を組織しないと難しいが、現在週4回の米飯については100%町産米を使用している。野菜は冬場を除いて約50%町産の野菜を使用している。町長以下各課長が各学校をまわって生徒と給食を食べた。農家のみなさんが丹精をこめて作ったものだということを生徒と一っしょに実感した。

なかなか厳しい状況はあるけれども、地域の方々が力を合わせて取組めば経済の循環も地域内でできる。製材業者なんかも今までは競争相手であったものが手を組んで取組んだ。

また、町内の森林資源を有効活用することで、森林を保全し山を育て、林業の再生をめざしている。その一歩として、公共施設の整備では、町産木材を使用し、建設には町内業者や町民が直接かかわる仕組みを構築する取り組みをしている。平成15年3月に完成した町立上平沢小学校は、町産材のムク材を使用し、大工や建設業者など、かかわる人はすべて紫波町の人にした。大手を頼むと中央に7~8割がいつてしまうが、それを地元に残したいということで

やった。盛岡の業者にもお願をするけれども、理念を理解してもらったうえで着手をしている。こうすることによって木材の循環と経済の循環をはかっている。平成16年3月に完成した虹の保育園の建築も、この理念に基づいたものである。また、公共木造施設だけではなくて、一般住宅にも活用している。

紫波町は盛岡から合併の誘いを受けたけれども、地域として自立できる町を作らなければ合併しても大変だということで、当分の間は自立でいくということにした。

高齢者の人たちの活用も考えている。例えば大工さんも高齢の人が多い。「匠の会」「森と家づくりの会」を組織している。虹の保育園が火災に遭ったとき、上平沢小学校を借りて保育をやったが、遊具などはお年よりの方々が作った。

#### 環境創造のまちづくり

安全で安心して暮らせる環境の創造は重要な課題であり、環境汚染の除去、環境への負荷削減の取り組みやさまざまな動物・植物などの生き物と、町の自然を共有する取り組みを進めている。

#### 環境学習のまちづくり

環境学習を推進するNPO法人紫波みらい研究所が設立され、町との協働で「環境探検隊」事業や環境・資源循環をテーマとしたセミナーなど、多くの学習活動に取り組んでいる。

2000年に「新世紀未来宣言」を発表し、いまの環境を保全し、創造し、100年後の子どもたちに確実に引き継ぐことを宣言。

※ エコ3 (ECO3) は次の「3つの単語」の頭文字をとって命名されました。

エコノミー Economy

経済的で

エコロジー Ecology

生態・環境を重視した

アース・コンシャス Earth Conscious

地球を意識する

## 第5回自治体・地域づくりセミナー

すでにチラシでお知らせしましたように、第5回自治体・地域づくりセミナーは以下のような内容で行われることになりました。

是非多数の参加をお待ちしております。なお参加申込みは、チラシにあります申込用紙で、FAXで10月12日までにお願ひします。

日時 2005年10月22日(土) 13:00~23日(日) 12:00

場所 津軽富士見ランドホテル

### 内容

#### 〈第1日目〉

- ① 13:00 開会
- ② 13:00~13:30 あいさつ、日程の確認、事務連絡など
- ③ 13:30~15:00 講演「持続可能な地域社会形成と地域資源の発掘・再評価」 成田 拓未氏
- ④ 15:20~17:30 4人の報告者によるリレートーク、討論など  
・「おいしいご飯を作る会」 木造町農協 野呂 淳也氏  
・「スチューベン」 鶴田町津軽ぶどう村 須郷 貞次郎氏  
・「ストーブ列車」 津軽鉄道株式会社 渋谷 房子氏  
・「立ねぶた」 立ねぶたの館 岩谷 勇幸氏
- ⑤ 18:00~ 夕食交流会

#### 〈第2日目〉

- ① 9:00~10:30 講演「憲法をくらしの中に生かそう」  
全国革新懇代表世話人 小林 洋二氏
- ② 10:30~11:30 講演「自治体病院の再編成問題について」  
西北中央病院検査技師 金川 佳宏氏
- ③ 11:30~ あいさつ等 閉会

青森県地域自治体問題研究所 会報

2005年10月7日 第28号

【事務局】弘前大学農学部生命科学部 神田健策

〒036-8224 弘前市文京町3 TEL 0172-39-3828

# 自治研

## 循環型社会の構築をめざして

### 第5回自治体・地域づくりセミナー〈プレ企画〉

自治体・地域づくりセミナー実行委員会は、10月22日、23日の第5回自治体・地域づくりセミナーに先立ち、9月3日午後1時から五所川原市職業訓練センターで、プレ企画の講演会を開催しました。講演会には、岩手県紫波町の助役高橋栄悦氏を講師に招き、「循環型社会の構築をめざして」と題して、紫波町の環境と福祉のまちづくりの先進的事例を講演してもらいました。

以下は講演とレジュメを基にして要旨をまとめたものです。

#### 【要旨】

紫波町は、平成12年に「新世紀未来宣言」を発表し、いまの環境を保全し、創造し、100年後の子どもたちに確実に引き継ぐことを宣言。翌年、「環境・循環基本計画」を策定した。6月に制定した環境型まちづくり条例は、町民・事業者・行政の協働による循環型社会のめざす理念を、子どもから大人までのすべての町民が理解し、考え、行動できるように「です・ます」調でつく